

Press Release

2004年10月21日

報道関係各位 殿

エクセルソフト社は、CompactPCI のホット スワップ ソフトウェアである Jungo 社の Go-HotSwap for Linux v6.22 を販売開始！！

エクセルソフト株式会社（東京都港区 代表取締役 渡辺光敏 資本金 1 千万円 TEL 03-5440-7875）は、Jungo 社の CompactPCI のホット スワップ ソフトウェアである Go-HotSwap シリーズに Linux Kernel 2.6 に対応した Go-HotSwap for Linux v6.22 を 2004年10月18日より日本国内で販売開始します。

製品名：

Go-HotSwap for Linux

製品カテゴリ： ホット スワップ ソフトウェア

製品概要

Go-HotSwap は、CompactPCI のホット スワップ機能を有効にする必要なソフトウェア モジュールを提供し、かつ、Windows 2000、XP、Server 2003、Solaris 8、9 および Linux Kernel 2.6 でホット スワップ対応のドライバを開発するツールおよび開発環境を提供します。Go-HotSwap は、CompactPCI のフル ホット スワップ ソフトウェアの PICMG 2.1 R2.0 の要件に準拠しています。また、Go-HotSwap には、統合コンポーネントとして、Jungo 社の WinDriver ドライバ開発ツールが含まれます。ドライバ開発ツールキットを使用することによって、さまざまな難解なデバイス ドライバの開発を 0 から行うよりも、大幅に簡略化できます。割り込みや I/O の処理の最適化を行い、ハイ パフォーマンスなドライバを作成する完成されたソリューションを提供します。



主な特徴

- CompactPCI ボードの挿入 / 取り外しの検出
- システム サービスおよびホット スワップ イベントの関連ドライバの通知
- ホット スワップ イベントの関連アプリケーションの通知
- Linux、Solaris および Windows 2000、XP、Server 2003 などのマルチ OS に対応
- ホット スワップ互換のドライバと同様にレガシー ドライバでもホット スワップ メカニズムを利用できるような包括的なソリューションを提供
- デバイス ドライバ開発ツールである Jungo 社の WinDriver を使用
- Jungo 社のドライバ開発ツールで開発したドライバは、対応する OS 間でソース コードによる互換性
- あらゆる CompactPCI シリコン / ボード / プラットフォームに対応し、あらゆる CompactPCI デバイスのホット スワップ対応のドライバを開発
- ユーザーモードまたはカーネルモードでドライバを開発

必要なシステム

- Linux Kernel 2.6
- x86 プロセッサ
- 32 ビット開発環境 – C (GCC など)
- 開発ソフトウェア用に 20.7 MB 以上の HDD 空き容量
- 実行モジュール用に 115K

価格

- お問い合わせください
対象の OS、ハードウェア、CPU および配布数などのお客様情報に依存します。

エクセルソフト株式会社について

エクセルソフト株式会社は、ソフトウェア開発ツールを中心に世界中の優れたソフトウェアを日本国内において販売しています。主に、コンパイラ、ソフトウェア解析ツール、デバイスドライバ開発ツールを提供し、開発者の多様なニーズに応えています。また、ソフトウェアの日本語および他言語へのローカライズ業務も承っています。

記載された社名、製品名、機種名は各社の商標または登録商標です。

このプレス・リリースについてのお問い合わせは下記までお願い申し上げます。

[お問い合わせ先] エクセルソフト株式会社 営業部

TEL:03-5440-7875

URL:<http://www.xlsoft.com>

FAX:03-5440-7876

E-mail:xlsoftkk@xlsoft.com